

(図2) 単元別学習プリント  
(意味調べ・言葉集め)略  
(文)

文型	例	意味
それに	子孫をふやすことができません。それに、たくさんあったキョウリユウの十分に栄養をとるときがでたので、それからキョウリユウのよいうに力の強いひつそりと生きてきたことです。そのため	同じ意味を持つつなぎ言葉 つなぎ方 一つの文にする ○ 子孫をふやすことが くさんあったキョウリユウの…… 同じ意味を持つつなぎ言葉 つなぎ方 一つの文にする ○ 十分に栄養をとることが ユウのように力の強い大きな動物が
つなぎ	まず、そのころの氣候がキョウリユウによく合っていたからです。	同じ意味を持つつなぎ言葉 つなぎ方 ひつそりと生きて を一つ一つの文にする。 ひつそりと生きて を表す言葉 を一つ一つの文にする。 てきにそれぞれ
か	人間にとつても大切なことではないでしょうか。	筆者の気持ち 同じ「か」を使った文 ○ これは何ですか。 ○ いいか、わかったか。 ○ そうか、そうだったのか。 意味を変えずに別な言葉で表す。
思われる	食べ物も少なくなり、とうとうほろんでしまったのだと思われま	○ どうとうほろんでしまったのだ。 ちがひ 使い方
れる	大きく三つにまとめられます。	「れる」の使い方 ○ はちはさされる。 ○ むずかしくて読まれない。 ○ 先生が話される。 使い方
説明するとき、説明文を書くときの文の結び方のいろいろ。	使い方	使い方

(文のつくり) 省略

図3 授業記録

教師のはたらきかけ	児童の反応
「それから」と同じような意味を持つ言葉はなんだろう。	○ 「それに、さらに、それと、そのほか」がある。 ○ 「それと」はちがう。(並列添加の接続語は、初めて) ○ 「そのほか」もちがう。(扱) ○ 「それから」と入れかえても文が通じるからいいと思う。 ○ 「それと」の「それ」は指し示す言葉だから違う。 ○ 「それと」「それと」「それと」「そのほか」は接続詞ではないが、四年生の段階であるので厳密に分けず、同じような働きをするということとでまとめた。
「前単元で学習した「さらに」と比較して考えている。細かいところに気付くようになってきつてくる。」	○ 「また、そして、しかも、そのうえ」もある。 ○ 「しかも」はいいと思う感じが違う。 ○ 「さらに」と似ている。 ○ たたみかける感じがする。
「それから」というつなぎ言葉の働きは。	○ つけ加え。(並列添加を「つけ加え」という言葉でおきかえて指導している。)
説明文を書くときの文のむすびを考えよう。次のようなむすびはどんなとき使うだろう。	○ 「文未表現のいろいろを、あらかじめプリントに印刷しておいたが、児童が自由に教材文等からさがし出させるべきであった。」 ○ 「予想するとき使う。(「推量」を「予想」という言葉で置きかえている。)○ 「予想するときと別なものがまじっている。」 ○ 「だそうです」は他から聞いたとき使う。 ○ 「だいたい」の人はそう言っている。 ○ 「でもはつきりしないとき使う。」 ○ 「どれもはつきりしないとき使う。」 ○ 「です。なので、からです。」
「?」ではないでしょうか。どうですか。	○ 「質問」ととらえる児童が五名ほどいた。「質問」ではないようだが、はつきり答えられる児童がなく教師がまとめる。少々むずかかったようだ。